数学入門 A 定期試験問題

2015年7月30日第4時限施行 担当水野将司

注意事項: ノート・辞書・参考書・教科書・コピー・電卓の使用を禁ず. 解答用紙のみを提出し、問題用紙は持ち帰ること.

全問について答えよ. 「答えのみでよい」と書かれていない問題については、証明をつけること.

問題 1.

空でない集合 X, Y に対して, $f: X \rightarrow Y$ とする. 次の問いに答えよ. ただし, (1) から (3) までについては、答えのみでよい.

- (1) $A \subset X$ に対して, f(A) の定義を答えよ.
- (2) $B \subset Y$ に対して, $f^{-1}(B)$ の定義を答えよ.
- (3) $g: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$ を、任意の $x \in \mathbb{R}$ に対して $g(x) := 2x^2 1$ で定める.
 - (a) $g([-2,4]) \cap g([-3,1])$ を求めよ.
 - (b) $g^{-1}((-2,3)) \cup g^{-1}((0,4))$ を求めよ.
- (4) $A_1, A_2 \subset X$ に対して $f(A_1 \cap A_2) \subset f(A_1) \cap f(A_2)$ を証明せよ.
- (5) $A_1, A_2 \subset X$ に対して $f(A_1 \cap A_2) = f(A_1) \cap f(A_2)$ が一般には成り立たないことを説明せよ.
- (6) B_1 , $B_2 \subset Y$ に対して $f^{-1}(B_1 \cup B_2) = f^{-1}(B_1) \cup f^{-1}(B_2)$ を証明せよ.

問題 2.

X,Yを空でない集合とする.次の問いに答えよ.ただし,(1)から

- (3) までについては、答えのみでよい.
- (1) $f: X \to Y$ が単射であることの定義を答えよ.
- (2) $f: X \to Y$ が全射であることの定義を答えよ.
- (3) 次の関数 f は「単射だが全射でない」、「全射だが単射でない」、「全単射」、「全射でも単射でもない」のどれになるか?
 - (a) $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$ を $x \in \mathbb{R}$ に対して, $f(x) := \cos x$ で定める.
 - (b) $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$ を $x \in \mathbb{R}$ に対して, $f(x) := e^{-x}$ で定める.
- (4) $f:(0,\infty)\to\mathbb{R}$ を $x\in(0,\infty)$ に対して, $f(x):=4x^2-3$ で定める. f が単射であること, 全射ではないことを示せ.
- (5) $g: \mathbb{R} \to [-3, \infty)$ を $x \in \mathbb{R}$ に対して, $g(x) := 4x^2 3$ で定める. g が 全射であること, 単射ではないことを示せ.

問題 3.

次の各問いに答えよ. ただし, (2) は答えのみでよい.

- (1) 命題 p,q,r に対して, $((p \land q) \to r) \Leftrightarrow (p \to r) \lor (q \to r)$ を真理表を用いて示せ.
- (2) $\vec{a_1}, \vec{a_2} \in \mathbb{R}^3$ が線形独立であるとは、どんな $c_1, c_2 \in \mathbb{R}$ に対して $e_1, e_2, e_3 = 0$ ならば、 $e_1 = e_2 = 0$ となることをいう.
 - (a) $\vec{a_1}, \vec{a_2} \in \mathbb{R}^3$ が線形独立であることの定義を、論理記号を用いて表せ、
 - (b) $\vec{a_1}, \vec{a_2} \in \mathbb{R}^3$ が線形独立でないことを、論理記号を用いて表せ、 以下余白 計算用紙として使ってよい.